



お客様への思いで食品ロス削減 まちの喫茶店からSDGs推進へ

成人式発祥の地「蕨」に創業して40年、美味しいコーヒーとお食事で、ゆったりとくつろげる空間を提供する喫茶店です。食品ロス削減をはじめとするSDGsに積極的に取り組んでいます。また、地域の皆様の憩いの場として、「コミュニティづくり」にも取り組んでいます。



笑顔で接客中のマスター



安心して「くつろげる」地域の居場所づくり

喫茶店として、お客様に気持ちよく利用していただけるように努めています。笑顔での接客も当店自慢のおもてなしです。また、ワークショップやイベントなどを開催し、「地域のつながり」を大切にした「コミュニティづくりの場」にもなっています。

事業紹介

SDGs達成に向けた取組

SDGsの取組は、個々の事業者が積極的に進めていくことが重要になってくると考えています。そのために、他の事業者の参考になるような、食品ロス削減をはじめとしたSDGsの取組を当店でもはじめ、令和4年11月30日付けで「埼玉県SDGsパートナー」の登録を受けました。【環境】【社会】【経済】の分野でSDGsの達成に貢献し、小さな喫茶店でも1歩1歩できることから挑戦していきたいと思っています。

- ①お客様のニーズに合ったメニューやサービスを提供していくことで、地域社会の発展に貢献する。
- ②飲食店として、社会的に要求されるHACCPや食品ロス問題への対応を進める。

食品ロス削減のために

「できることを個店から」

コーヒーベルでは、『小さな喫茶店にもできることを意識して』、お客様とともに食品ロスの削減に取り組んでいます。

美味しい料理を、食べ残すことなく満足してもらいたいという思いから、ピザやパスタはお客様のお好みにあったサイズで提供しています。ライスなどをご注文いただく際は、こちらからサイズの希望を伺い、お客様がオーダーしやすいよう努めています。また、サラダ、サンドイッチ、スパゲティ、ケーキをワンプレートで楽しめる「よくばりプレート」は一番人気のメニューです。少しずつ、いろいろなものを食べることができるので、「よくばり」ながら食べ残す心配もありません。ワンプレートで提供するため、洗い物も少なく、水資源の節約にもつながっています。

サンドイッチを作った際に端切れとして出てしまう食パンの耳は、お客様の希望に応じてそのままお譲りしたり、揚げて「ラスク」として提供しています。一手間かけることで美味しくなり、食品ロスの削減につながって、お客様にも喜んでいただけるので積極的に対応しています。

P.63を見てね



人気のよくばりプレート



食パンの耳と、それをアレンジした「ラスク」



コーヒーベルからのメッセージ

SDGsを進めていくためには、個々の事業者も積極的に取り組んでいかなければならないと考えています。そのために、「小さなことからでも取り組めるということが、他の飲食店の参考になったら」と思っています。InstagramやLINE、店舗ガイドで情報発信すると、新規のお客様が興味をもってご来店いただくこともあり、少しずつ広がりを感じています。今後も、食品ロス削減をはじめとするSDGsに取り組むことによって、まち全体が元気になるよう取り組んでいきたいと思っています。